

第 38 回高齢者排泄ケア講習会

アンケート集計結果

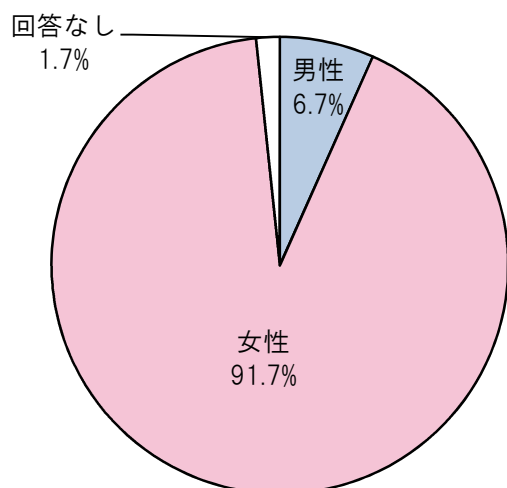
* H26.2.15（土） 実施

会場： 福岡国際会議場

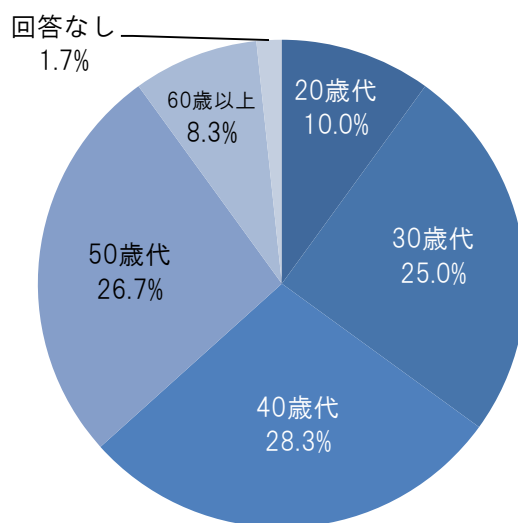
講習会参加者 72 名／アンケート回答者 60 名（回答率 83.3%）

■ あなたご自身についてお伺いします

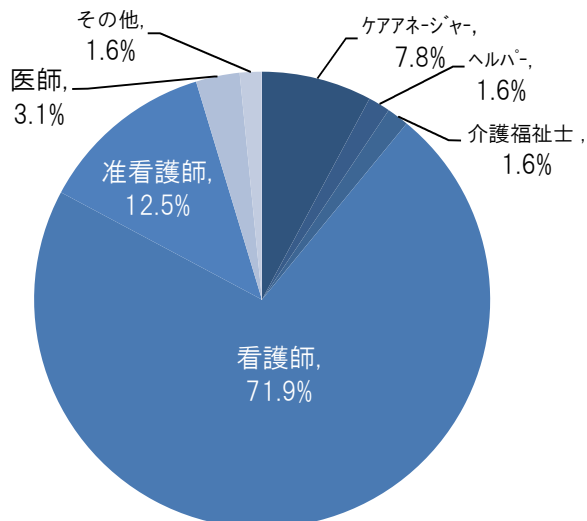
1) 性別



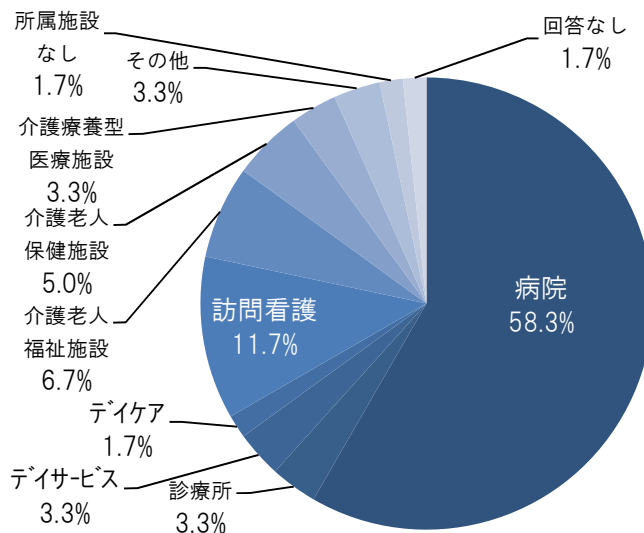
2) 年齢



3) 職種

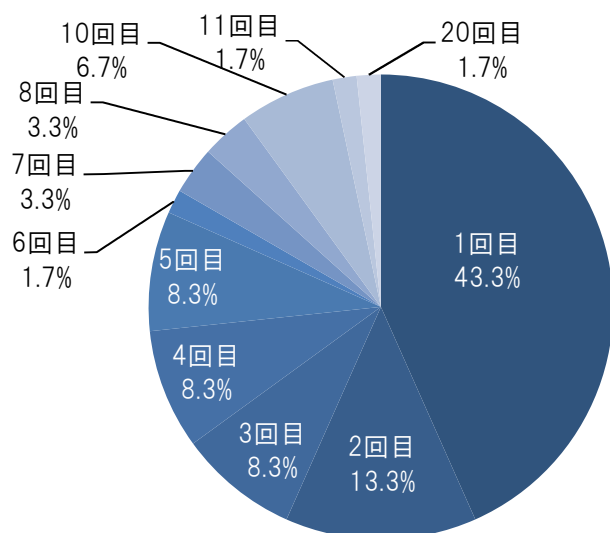


4) 所属施設

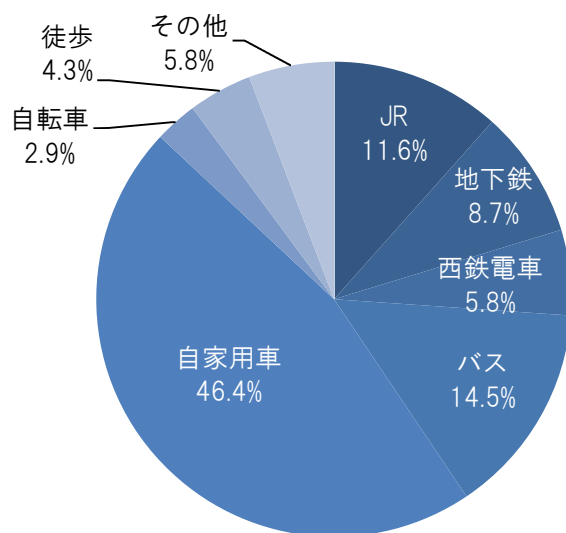


■ 高齢者排泄ケア講習会についてお伺いします

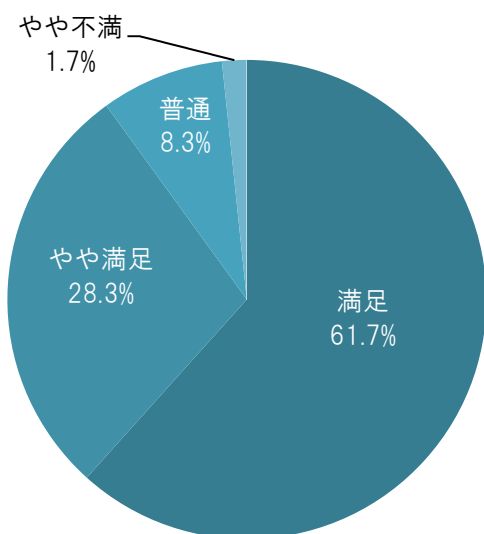
1) 今回でこの講習会は何回目のご参加ですか？



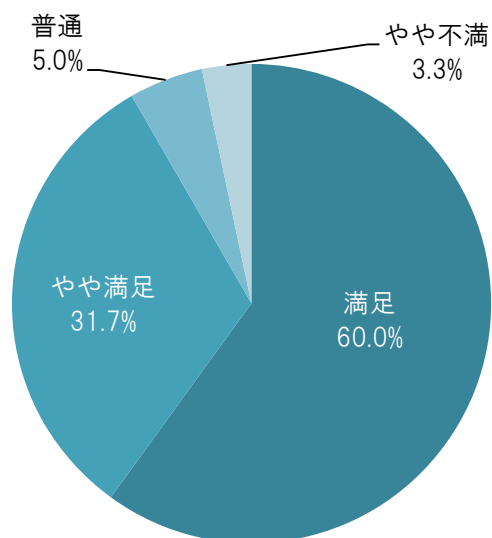
2) ご来場の際に利用された交通機関



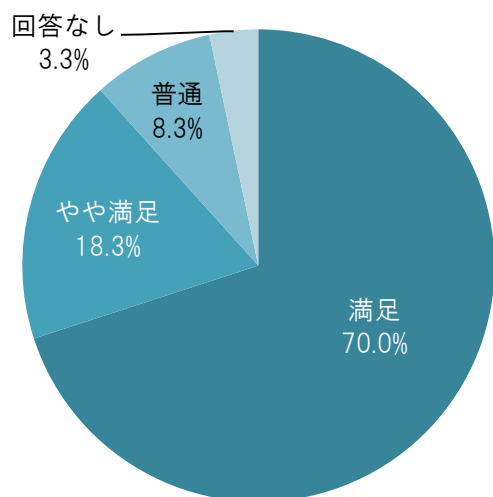
3】本日の講習会の内容について
『間欠導尿、留置カテーテルによる
排尿管理の基本事項』



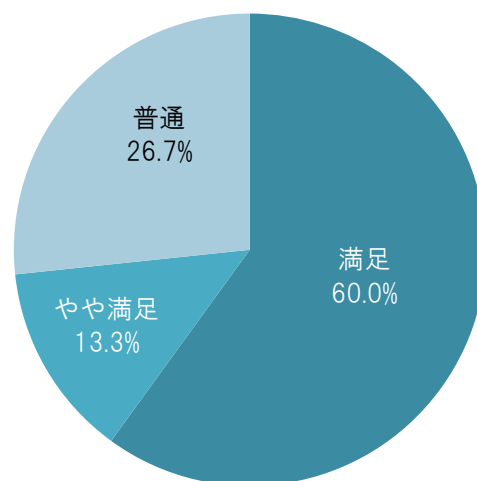
4】本日の講演時間について
『尿路カテーテル管理にまつわる問題点について
～尿路感染を中心に～』



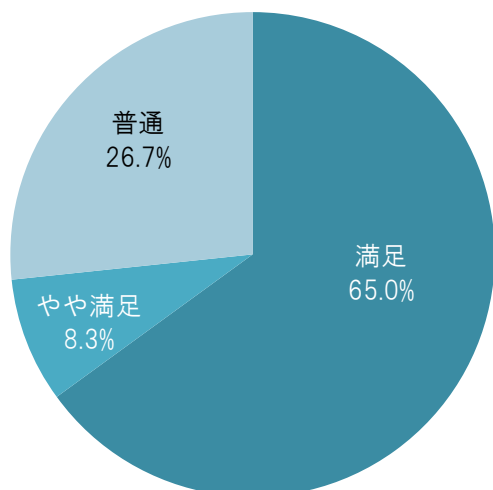
3】本日の講習会の内容について
『カテーテル操作の実践・看護手技』



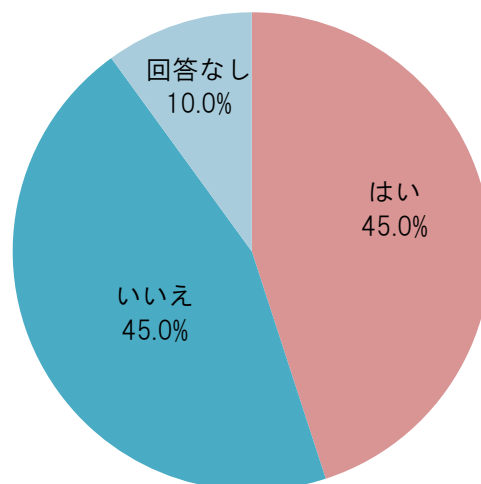
4】本日の講演時間について



5】本日の会場について



■ ニュースレターをご覧になったことがありますか？



6】 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望など、ご意見がございましたらご記入ください。

講習会の感想：

- ・ 今回、初めて参加させていただきました。とても分かりやすく、実践に生かせる内容でした。
- ・ 引き続き、感染は聞いていきたいです。
- ・ 2つめの講演について、内容が分かりにくい資料があった（難しい）。
- ・ 改めてカテに関する意識を考えることができた。
- ・ 高橋先生、藤川先生の講習は2回目でしたので、復習にもなり、また違う内容も加わっており、勉強になりました。

講習会で取り上げてほしいテーマ：

- ・ 看護師でないのもう少し基礎的なことや、在宅において、ケアマネージャーとしての関わり方について
- ・ おむつかぶれ、褥瘡の予防・治療、在宅ケアを中心とした講義
- ・ 在宅看護における排泄ケアのテーマ（在宅ならでは）を要望します。
- ・ 病院から介護施設、在宅に向けての継続（治療後～治療途中）。保険の間に治療や手技を継続することができない場合が多く、できれば病院での治療を進めてもらうか、在宅や介護施設で行ってほしいこと、行えることが知りたいです。
- ・ 陰茎が短い患者のオムツからの尿モレが多いので、対策を知りたい。
- ・ 過活動膀胱の治療
- ・ 向精神病薬内服の患者がよく尿閉をおこすので、そのケアについて知れたら…
- ・ PFS やビデオウロダイナミクスなど、実際の検査について詳しく知りたい。検査時の工夫点、注意点、原三信病院の症例など聞きたいと思いました。
- ・ 問診について（正確に情報を得て、診断に結び付けられるためには、どのような問診がよいのか？）
- ・ 今までに既に行われているかもしれませんが、排便コントロールについて（特に難病の方の便秘）知りたいと思います。
- ・ 高齢者の排便コントロール
- ・ 排便について。現場では安易に下剤を使っています。何とかしたいのですが…
- ・ 認知症の症例を取り上げてほしい。

その他：

- ・ 14時→15時開始にしてほしい。
- ・ 今回の講習会費が少し高いなあ…と思いました（パートにはつらいです）。
- ・ 今回の会費が少し高いのが負担に感じました。

■ 今後、ニュースレターに掲載してほしいことがございましたらご記入ください。

- ・ 在宅に向けできること…
- ・ Reminder system